

特集3

「ブックトーク・オン・アジア」

設楽 成実

京都大学東南アジア地域研究研究所

東南アジア地域研究研究所では、2021年1月にアジアに関する新刊書籍を紹介する音声プログラム「ブックトーク・オン・アジア」の配信を開始した。このプログラムは、毎回ある書籍の著者をゲストとして招き、執筆の背景や書籍の内容について話を伺うもので、毎月2回、第2、第4水曜日に配信されている。研究者コミュニティやアジアに関心のある人たちを主なリスナー層と想定し、新刊本の紹介にとどまらず、堅くみられがちな研究者の実際の人柄を知ってもらうことも目的としている。聞き手は、弊所出版委員会を担当する准教授の中西嘉宏が務め、これまで32名のゲストを招き31冊の書籍を紹介してきた（2022年3月現在）。

実は、弊所では本プログラムに先立ち「自著を語る」という動画プログラムを制作していた。これは、弊所刊行の地域研究叢書（日本語、英語）や所員執筆による新刊を紹介することを目的に、著者の語りを5～10分程度の動画としてまとめたものだった。1時間程度の動画撮影ののち、文字起こしを行ったうえで内容を編集し、インタビュー映像に著者から提供された現地調査の写真や書籍の図表などを挿入し、音楽やテロップをのせ完成させるという制作過程をとり、編集室と研究支援室のスタッフ、機関研究員がチームを組んで手弁当で制作していた。ただ、収録・編集作業にはどうしても時間がかかり、また、5～10分の動画では研究書の内容を十分に伝えきれないというもどかしさ、大幅な編集により著者の思いが誤って伝わってしまうのではないかという怖さも感じていた。そこで、少し方向転換を行い、音声プログラムとして著者にじっくり話を聞こうという趣旨で始まったのが、「ブックトーク・オン・ア

ジア」である。

本プログラムの制作過程を簡単に紹介しておこう。まず、制作チームで取り上げる書籍を検討し、著者に出演を打診する。出演を承諾いただいた著者には、収録の3日程度前にプログラムの概要と質問内容をまとめ送付する。収録は基本的にZoomで行い、編集室のスタッフと編集担当者が立ち合い、



毎月第2、第4水曜日更新!!

Book Talk on Asia

ブックトーク・オン・アジア

<https://soundcloud.com/user-153026370-46049678>
<https://feeds.soundcloud.com/users/soundcloud:users:280946410/sounds.rss>
<https://www.youtube.com/playlist?list=PLYN5XKqB9WIM8voGgRYPkshaISO3IKW>

このプログラムでは、アジアに関する最新書籍を紹介し、著者をお招きして、ご著書の内容や背景についてじっくり話を伺います。これを聴けば、ちょっと固いかなの本や、値段に反 proportion する本も、読まずに中身がわかるかも・・・いや、聴いてから買って読んでも遅くない! 京都大学学術出版会から出版している弊所の研究書シリーズ「地域研究叢書」の広報も兼ねておりますのであしからず。

聞き手 中西嘉宏
(京都大学・准教授)

制作：京都大学東南アジア地域研究研究所編集室
お問い合わせ：editorial@cseas.kyoto-u.ac.jp

CSEAS

音声の確認や録音作業を行う。収録後は、著者から特段の要望がある場合などを除き内容の編集は行わず、音のバランスの調整や不要な間の削除を行い、オープニングとエンディングをつけて仕上げる。公開日に先立ち、音声ファイルおよび書誌情報を SoundCloud と YouTube にアップロードし、著者と出版社に連絡を行う。公開後は、弊所および編集室のウェブサイトにて新着情報を上げ、SNS（Twitter と Instagram）で発信を行う。なお、編集作業は連携研究員に委託している。



1 年間配信してみた感想としては、継続するうえで、動画に比べ収録の手間がかからないという点が大きいと感じている。これにはコロナ禍により Zoom の利用が普及したことがプラスに働いている。一方で、美術を扱った書籍やフィールドワークにまつわる話を紹介する際などに、図版や調査時の写真を見せることができない歯がゆさを感じることも少なくなく、動画のもつ強みを改めて感じてもあるものの、研究成果の発信媒体としての音声プログラムの利用は欧米ではすでに一般化しており、日本でも今後さらに進んでいくものと思われる。かくいう私は、オールナイトニッポンや MBS ヤングタウン、OBC プンブンリクエストといったラジオが大好きだった。ラジオの魅力は、MC とリスナーがいわば密室空間にいるようなもので、テレビとは違い両者の距離がぐっと縮まる点にあるとどこかで読んだ記憶がある。本音声プログラムも、普段は物理的に、時には心理的に遠い存在である研究者がぐっと身近に感じられることが醍醐味の一つであるに違いない。制作チームでは、100 回の配信を目指し目下奮闘中である。ぜひ、一度お聴きいただき、この濃密な空間をお楽しみください。

■これまでの配信リスト

No.	Author	Title	Img
1	倉沢愛子	『インドネシア大虐殺：二つのクーデターと史上最大級の惨劇』 (中公新書、2020 年) 『楽園の島と忘れられたジェノサイド：バリに眠る狂気の記憶をめぐる』 (千倉書房、2020 年)	
2	佐久間香子	『ボルネオ 森と人の関係誌』 (春風社、2020 年)	
3	佐藤若菜	『衣装と生きる女性たち：ミャオ族の物質文化と母娘関係』 (京都大学学術出版会、2020 年)	
4	水野広祐	『民主化と労使関係：インドネシアのムシャワラー労使紛争処理と行動主義の源流』 (京都大学学術出版会、2020 年)	
5	谷口美代子	『平和構築を支援する：ミンダナオ紛争と平和への道』 (名古屋大学出版会、2020 年)	
6	安藤和雄（編）	『東ヒマラヤ：都市なき豊かさの文明』 (京都大学学術出版会、2020 年)	
7	細田尚美	『幸運を探すフィリピンの移民たち：冒険・犠牲・祝福の民族誌』 (明石書店、2019 年)	

8	高橋昭雄	『ミャンマーの体制転換と農村の社会経済史 1986 - 2019 年』 (東京大学出版会、2021 年)	
9	小林真樹	『食べ歩くインド (北・東編)』 / 『食べ歩くインド (南・西編)』 (旅行人、2020 年)	
10	下條尚志	『国家の「余白」：メコンデルタ 生き残りの社会史』 (京都大学学術出版会、2021 年)	
11	澤田晃宏	『ルポ 技能実習生』 (ちくま新書、2020 年) 前編	
12	澤田晃宏	『ルポ 技能実習生』 (ちくま新書、2020 年) 後編	
13	小西 鉄	『新興国のビジネスと政治：インドネシア バクリ・ファミリーの経済権力』 (京都大学学術出版会、2021 年)	
14	貴志俊彦	『アジア太平洋戦争と収容所：重慶政権下の被収容者の証言と国際救済機関の記録から』 (国際書院、2021 年)	
15	古澤拓郎	『ウェルビーイングを植える島：ソロモン諸島の「生態系ボーナス」』 (京都大学学術出版会、2021 年)	
16	佐藤 創	『試される正義の秤：南アジアの開発と司法』 (名古屋大学出版会、2020 年)	
17	横山 智	『納豆の食文化誌』 (農文協、2021 年)	
18	松田ヒロ子	『沖縄の植民地的近代：台湾へ渡った人びとの帝国主義的キャリア』 (世界思想社、2021 年)	
19	北澤直宏	『ベトナムのカオダイ教：新宗教と 20 世紀の政教関係』 (風響社、2021 年)	
20	益満雄一郎	『香港危機の 700 日 全記録』 (筑摩書房、2021 年)	
21	佐藤 仁	『開発協力のつくられ方：自立と依存の生態史』 (東京大学出版会、2021 年)	
22	島村一平	『ヒップホップ・モンゴリア：韻がつむぐ人類学』 (青土社、2021 年)	
23	古田元夫	『東南アジア史 10 講』 (岩波書店、2021 年)	
24	佐藤 寛+アジアコンビニ研究会 (編)	『コンビニからアジアを覗く』 (日本評論社、2021 年)	
25	岩間一弘	『中国料理の世界史：美食のナショナリズムをこえて』 (慶應義塾大学出版会、2021 年)	
26	吹原 豊	『移住労働者の日本語習得は進むのか：茨城県大洗町のインドネシア人コミュニティにおける調査から』 (ひつじ書房、2021 年)	

27	古沢ゆりあ	『民族衣装を着た聖母：近現代フィリピンの美術、信仰、アイデンティティ』 (清水弘文堂書房、2021 年)	
28	アンソニー・リード (著) 太田 淳・長田紀之 (監訳) 青山和佳；今村真央； 蓮田隆志 (訳)	『世界史のなかの東南アジア：歴史を変える交差点』【上／下】 (名古屋大学出版会、2021 年) 前編	
29	アンソニー・リード (著) 太田 淳・長田紀之 (監訳) 青山和佳；今村真央； 蓮田隆志 (訳)	『世界史のなかの東南アジア：歴史を変える交差点』【上／下】 (名古屋大学出版会、2021 年) 後編	
30	和田理寛；小島敬裕； 大坪加奈子；増原善之； 下條尚志；杉本良男	『東南アジア上座部仏教への招待』 (2021 年、風響社) 前編	
31	和田理寛；小島敬裕； 大坪加奈子；増原善之； 下條尚志；杉本良男	『東南アジア上座部仏教への招待』 (2021 年、風響社) 後編	
32	西 芳実	『夢みるインドネシア映画の挑戦』 (2021 年、英明企画編集)	
33	佐々木貴文	『東シナ海 漁民たちの国境紛争』 (2021 年、KADOKAWA)	
34	帯谷知可	『ヴェールの中のモダニティ：ポスト社会主義国ウズベキスタンの経験』 (東京大学出版会、2022 年)	

ブックトーク・オン・アジア

- ・ SoundCloud: <https://soundcloud.com/user-153026370-46049678>
- ・ Youtube: <https://www.youtube.com/playlist?list=PLYNr5XeQb9WIM8svoGgRYPkshsISO3iKW>
- ・ RSS: <https://feeds.soundcloud.com/users/soundcloud:users:880946410/sounds.rss>

企画・制作：出版委員会、編集室 / 協力：広報委員会